



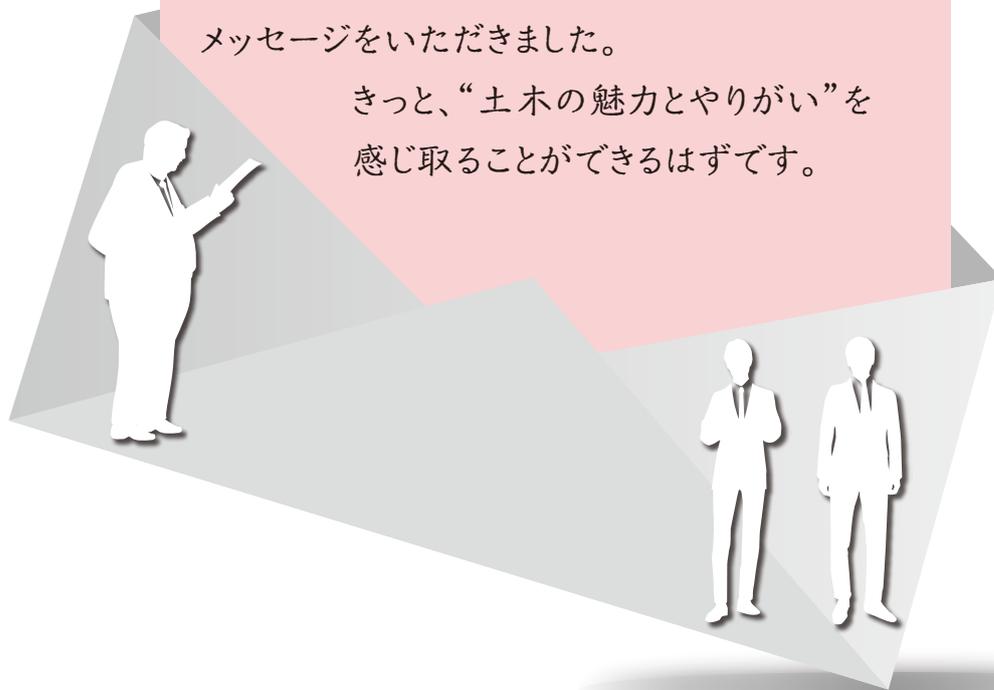
# 新入社員への手紙



新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

社会人としての新しい人生がスタートし、心配や不安もある反面、希望と期待を胸に新たな一歩を踏み出された皆さんに、さまざまな経験を積んで活躍されている先輩方から、心のこもったメッセージをいただきました。

きっと、“土木の魅力とやりがい”を感じ取ることができるはずです。



- 新入社員の皆さまへ ..... 4  
小原 理恵 飛島建設株式会社 首都圏土木支店 金沢すい道配水池作業所
- 技術者への第一歩 ..... 5  
尾崎 誠 日本道路株式会社 東京支店 横浜営業所



## 新入社員の皆さまへ

新入社員の皆さま、入社おめでとうございます。  
建設業界に皆さまより少し先に足を踏み入れた者として、私の仕事に際して大事にしていることを手紙にしたためます。

まず自己紹介ですが、私は元々現場での施工管理業を行いたいと望んでいたため、ゼネコンへの就職を目指しておりました。2003年に飛島建設に入社し、設計業務を約1年行ってから、現場配属となりました。最初の現場は地下鉄のシールド工場の現場で、その後は、処理場や配水池などのコンクリート構造物を築造する工事に主に携わっています。

現場仕事の良さでよく言われることですが、工事が完成した時の達成感は毎度言葉にならないほどに大きく、何度味わっても感慨深さは変わりません。できあがったものを見ると職員と職人さんが一丸となって頑張った日々が思い出され、この仕事に対する前向きな気持ちが自然と湧き上がってきます。

私自身いくつもの失敗をして、現場や職人さんに迷惑をかけ、周りからたくさん助けられました。そして学んだことは、一瞬でもおかしいと思ったことや、わからないことは絶対にそのままにしない、ということです。「たぶん大丈夫」ということはありません。確認して悪いこともありません。確認するための少しの時間を待ってもらうことで、やり直しをする多大な労力を防ぐこと

ができます。

もうひとつ大事にしていることが、「守破離」という思想です。まずは習いまねること。先輩上司、経験豊富な職人さんを見て学び自分のものとしていくことです。それから徐々に自分のやり方を見つけ、最終的に創意工夫をしてオリジナリティを出していく、ということです。まずは学び、多くのことを習得していきましょう。その先に仕事の楽しさがきっとあると思います。

これから仕事をしながら色々な経験をし、皆さまの人生が充実した幸せな日々となることを祈っております。頑張りすぎず無理しすぎず、そして楽しく元気に頑張ってくださいね。

**飛島建設株式会社**

首都圏土木支店  
金沢すい道配水池作業所

**小原理 恵**



## 技術者への第一歩

将来の土木業界を担う皆さん、入社おめでとうございます。

社会人としての第一歩を踏み出し、様々な不安な思い、夢、希望を胸に日々を過ごしているのではないのでしょうか。私は10年前に道路会社に入社し、広島の国道改良工事に配属されました。出身が東京であり、初めての一人暮らしで土地勘もわからなければ、勿論仕事もわからない。緊張で頭が真っ白の中、現場事務所へ案内され、まず元気よく挨拶しました。先輩から「よく来たな。待っていたよ。」、期待されるはずもない新入社員の私を暖かな言葉で出迎えてくれました。その一言で、緊張はほぐれ、技術者としてのスタートを切る事が出来ました。

私は入社して10年とさほど経験を多く積んできた人材ではありません。ですが、入社してから浅いから年齢が離れていないからこそ皆さんへのお願いです。

1、わからない事はとにかく聞いてください。

聞かぬは一生の恥です。皆さんは何を聞いても構いません。わからない事しか無いはずです。聞いて知識にしてください。

2、とにかく書いてください。

上司、先輩から聞いたこと、教わったこと、また自分が良いと思ったこと、楽しかったこと、失敗したことなど、とにかく書いて残し

てください。そして書き残した物は大切にしてください。自分自身の今後の財産になります。

3、失敗に恐れずチャレンジしてください。

誰もが失敗は嫌なものです。ですが、チャレンジには失敗がつきものです。チャレンジのできない人材がそろると、会社も成長しません。自らが積極的にチャレンジして失敗して次へ生かす過程が優秀な人材へと成長します。

学生という決められた道を歩き、社会人という分かれ道に達し、今日から土木技術者の道を選び歩み出しました。その道をしっかり自らの足で歩いて下さい。皆様の新たな第一歩を心よりお祝い申し上げます。

日本道路株式会社

東京支店  
横浜営業所

尾崎 誠

